allcinema

哀しみのトリスターナ（1970）

TRISTANA

メディア　映画
ジャンル　ドラマ　ロマンス
製作国　イタリア／フランス／スペイン
色彩　Color
時間　99分
初公開日　1971/01/23
公開情報　ヘラルド
リバイバル　1984/12［フランス映画社］

【解説】

「昼顔」以上に変態的かつ美しいブニュエルとドヌーヴのコンビ作は、２０年代末のスペイン、トリエステを舞台に、伝奇的に始まる。１６歳のトリスターナは両親に死なれ、母の知人の初老の没落貴族ドン・ロペに引きとられる。彼女を“女”として見る義父を無意識下に恐れ、ある日教会の鐘楼に登った娘は、その夜、鐘になって揺れる彼の生首を夢にみる。はじめはドン・ロペの言いなりだったトリスターナだが、彼の留守の間に散歩に出、朽ちかけた僧院の庭で絵を描く若き画家オラーシオに心魅かれ、青年も美しい彼女を見初める。やがて露骨に義父の求めを拒絶するようになったトリスターナは青年と駆け落ち。が、残されたドン・ロペが、きっと戻ってくる、と呪詛した通りに足を病んだ彼女は二年後、彼のもとに舞い戻り、片足を切断して、彼と結婚する。しかし、ある夜、発作を起こした夫の部屋の窓を開け放ち雪混じりの風を入れ、冷然と彼を見殺しにするのだった……。愛なき結婚の孤独を、片足のない裸体を口のきけぬ下男に晒すことで表現するシーン。ブニュエルの演出は凄絶極みである。

【クレジット】

監督	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel	
製作	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel	
	ロベール・ドルフマン	Robert Dorfmann	
原作	ベニト＝ペレス・ガルドス	Benito Pérez Galdós	
脚本	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel	
	フリオ・アレハンドロ	Julio Alejandro	
撮影	ホセ・アグアイヨ	Jose Aguayo	
編集	ペドロ・デル・レイ	Pedro del Rey	
音楽	クロード・デュラン		
出演	カトリーヌ・ドヌーヴ	Catherine Deneuve	トリスターナ
	フランコ・ネロ	Franco Nero	オラーシオ
	フェルナンド・レイ	Fernando Rey	ドン・ロペ
	ローラ・ガオス	Lola Gaos	サテュルナ
	アントニオ・カザス	Antonio Casas	ドン・コスメ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.